

水先案内人のおすすめ

評論家や専門家等、エンタメの目利き&ツウが
いまみるべき1本を毎日お届け！



小さくとも内容の豊かな展覧会を紹介

白坂 由里

アートライター



🎨 **アート**

山下麻衣+小林直人 -もし太陽に名前がなかったら-

📅 23/1/25(水)~23/3/21(火)
📍 千葉県立美術館

LINEで送る

シェアする

ツイート

2

千葉県出身のアーティストユニット、山下麻衣+小林直人（以下、山下+小林）は、自然や社会のなかで起こるさまざまな現象について、何らかの行為を起こし、自らの身体を通じて捉え直そうとしてきた。展覧会タイトルの「もし太陽に名前がなかったら」とは、「太陽とは」と辞書を引いて意味を確認するように理解するのではなく、太陽が何かを知らないまま初めて出会ったように感じ取ることを促している。

それが鮮烈に現れているのは、自転車に乗った山下が、瀬戸内の海岸沿いをひたすら走る《世界はどうしてこんなに美しいんだ》という映像作品だ。自転車の車輪に「世界はどうして」「こんなに美しいんだ」という言葉が回転しながら浮かび上がる。しかし、続いて富山県で制作した《人（ ）自然》では、自転車を漕ぐ道の様子が変わる。深山から、空き家も目立つ集落、やがて巨大なソーラーパネルまでが映り込む。「人と自然」「人は自然」といったふうに（ ）部分の格助詞が変わっていく。東日本大震災、気候変動、コロナ禍など、世界を大きく転換させる出来事のなかで、それでも美しいと思う瞬間を永遠に駆動させるために漕ぐ。と同時に人間が変わらなければ、この美しさも無限ではない。

最近作の《infinity~mirage》では、蜃気楼で有名な富山県黒部市生地（いくじ）の護岸に「m」型の看板を設置し、「∞」に見えるかどうかを実験した。不確かなものにたくさんの人が賭けてみた作品だ。

千葉県の海岸で、磁石で集めた砂鉄から鉄を抽出して1本のスプーンを作り出した《A Spoon Made From The Land（大地から作った1本のスプーン）》は過去作だが、なにもなくなった大地から、些細で非効率な行為であっても、何かを生み出す力に思い至る。他に、愛犬が参加する映像作品などもあり、人間ばかりの視点ではないのも興味深い。

23/2/16(木)



白坂 由里が水先案内している作品・公演



🎨 **アート**

潜在景色

📅 ~3/5(日)
📍 アーツ前橋



🎨 **アート**

ウェンデルン・ファン・オルデンボルフ 柔らかな舞台

📅 ~2/19(日)
📍 東京都現代美術館



🎨 **アート**

みる誕生 鴻池朋子展

📅 ~1/9(月)
📍 静岡県立美術館



🎨 **アート**

野口里佳 不思議な力

📅 ~1/22(日)
📍 東京都写真美術館



🎨 **アート**

地球がまわる音を聴く：パンデミック以降のウェルビーイング

📅 ~22/11/6(日)
📍 森美術館



🎵 **音楽**

ライブ制作チームが語るKing Gnu初の東京ドーム公演



🎬 **映画** **PR**

最終回放送直前でもまだ間に合う！
『REVENGER』特集



🎬 **映画** **PR**

いま、ドキュメンタリーがアツい！TBS DOCS特集④『TBSドキュメンタリー映画祭…



🎬 **映画**

【動画インタビュー】気になる！あの映画の“ウラ話” Vol.18『クモとサルの家族』宇…



🎭 **ステージ**

ゆけ！ゆけ！歌舞伎“深ボリ”隊！！ 今月の歌舞伎座、あの人に直撃！！



🎬 **映画** **PR**

いま、ドキュメンタリーがアツい！TBS DOCS特集③『日の丸』



🎵 **音楽**

ぴあ 50th Anniversary 「Live!ロックちゃん 2023」



🎬 **映画** **PR**

いまでも愛され続ける“伝説”の映画『タイタニック』がスクリーンに復活！

